

情報通信審議会情報通信技術分科会

航空・海上無線通信委員会 90GHz 帯滑走路路面異物検知レーダー作業班（第 1 回） 議事要旨

1 日時

令和 5 年 11 月 1 日（水） 16:00～17:20

2 場所

合同庁舎 2 号館 総務省 6 階会議室及び Web 会議（Webex）（ハイブリッド）

3 出席者（敬称略、順不同）

福島主任、栗田構成員、柴垣構成員、竹内構成員（代理：西脇様）、中村一城構成員、中村元構成員、西村構成員、野尻構成員、橋田構成員、平松構成員、二ツ森構成員、細川構成員、牧野構成員

説明員：日立国際電気 加島様、佐藤様

[事務局]

総務省総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課 廣瀬課長、和田課長補佐、奥井係長、小林主査

4 配付資料

資料 90GHz 作 1-1：90GHz 帯滑走路路面異物検知レーダーに関する技術的条件の検討開始について

資料 90GHz 作 1-2：90GHz 帯滑走路路面異物検知レーダー作業班の検討の進め方等について

資料 90GHz 作 1-3：「空港滑走路における 90GHz 帯 FOD レーダーの導入に向けた周波数有効利用に関する調査検討」

資料 90GHz 作 1-4：共用検討に関する詳細報告

資料 90GHz 作 1-5：90GHz 帯滑走路路面異物検知レーダーに関する国内実証結果等について

資料 90GHz 作 1-6：90GHz 帯滑走路路面異物検知レーダーに関する国際標準化動向及び国際展開等について

参考資料 90GHz 作 1-1：航空・海上無線通信委員会運営方針

参考資料 90GHz 作 1-2：「空港滑走路における 90GHz 帯 FOD レーダーの導入に向けた周波数有効利用に関する調査検討」報告書

参考資料 90GHz 作 1-3：Report ITU-R M.2501-0 Technical and operational characteristics of the foreign object debris detection system operating in the frequency range 92-100 GHz

5 議事概要

(1) 及び (2) 90GHz 帯滑走路路面異物検知レーダーに関する技術的条件の検討開始等

事務局から資料 90GHz 作 1-1 及び資料 90GHz 作 1-2 に基づき説明が行われ、特段の質疑はなかった。

(3) 「空港滑走路における 90GHz 帯 FOD レーダーの導入に向けた周波数有効利用に関する調査検討」について

加島説明員から、資料 90GHz 作 1-3 に基づき説明があり、以下の質疑が行われた。

質疑応答

- ・レーダーということで、ビーム幅は規定しているのか。(平松構成員)
- ・ビーム幅は規定していないが、44dBi のカセグレンアンテナを想定しており、概ねビーム幅は 1 度ぐらいのものを想定している。(加島説明員)
- ・下を向くということで承知した。(平松構成員)

(4) 90GHz 帯滑走路面異物検知レーダーの国内実証等について

柴垣構成員から資料 90GHz 作 1-4 に基づき説明があり、以下の質疑が行われた。

質疑応答

- ・FOD から地球探査衛星（能動）に対しては、技術試験事務のあとの ITU における検討で時間率を考慮することで、共用可能となったということによいか。(福島主任)
- ・その通り。(柴垣構成員)
- ・偏波について、どのような条件の時に円偏波に切り替えるのか。(橋田構成員)
- ・FOD 形状により垂直偏波が検知性能良い場合と水平偏波が検知性能良い場合が生じる。あらゆる形状を想定すると円偏波が総合的に優れているため円偏波を提案したい。直線偏波と切り替えて使うという意味ではないのでご理解いただきたい。(柴垣構成員)

続いて、佐藤説明員から資料 90GHz 作 1-5 に基づき説明があり、特段の質疑はなかった。

続いて、柴垣構成員から資料 90GHz 作 1-6 に基づき説明があり、特段の質疑はなかった。

(5) その他

次回の会合については、主任及び構成員の都合を調整し、ご連絡するとすることとした。

WRC-23 が 11/20 以降にドバイで開催されるが、日程調整で考慮されるのかを伺いたい。(平松構成員)

現地の会議の時間との調整がつく時間で調整させていただき、可能な範囲でご出席を調整していただく形としたい。(事務局)

以上